

検討の観点別に見た特色

	観点	教科書の特色
範囲	<ul style="list-style-type: none"> ●取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●幅広いジャンルから厳選された教材によって必要な内容が十分に扱われており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。
程度	<ul style="list-style-type: none"> ●教材は、生徒の心身の発達段階や能力の実態に適合しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●歌唱教材においては生徒の感性の発達段階に応じた楽曲を、器楽教材においては技術的に平易な楽曲を取り上げている。創作教材においては、生徒が取り組みやすい内容で、活動の手順を具体的に示している。また、鑑賞教材においては鑑賞のポイントを明確に示すなど、生徒の能力の実態に即した適切な内容になっている。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ●教材の選択及び扱いは、学習指導を進めるうえで適切であるか。 ●育成を目指す資質・能力の三つの柱を踏まえて、基礎的・基本的な学力の定着について適切な配慮がなされているか。 ●説明文やイラスト、写真などは、学習指導を進めるうえで適切であるか。 ●「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、配慮や取り組みはなされているか。 ●我が国や郷土の伝統音楽及び音楽文化に対する配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●明確な学習の観点のもと、幅広く変化に富んだ学習活動を行うことのできる教材が用意されており、生徒が、自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することができるとともに、音楽の多様性を理解し、音楽的な見方・考え方を働かせ、音楽のよさや美しさを深く味わい、音楽文化に親しむ態度を養うことができるよう配慮されている。 ●教材の内容は、三つの柱（「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」）と相互に関連付けられており、さまざまな参考資料を収録して、基礎的・基本的な内容を学習できるよう工夫されている。また、鑑賞においては楽曲の構成や文化的・歴史的背景が分かりやすく解説されており、確実に学習活動が進められるよう配慮されている。 ●説明文は平易な言葉で書かれており、その配置も工夫されている。 ●イラストや写真の取り上げ方はアイデアにあふれ、音楽的な見方・考え方の育成や知的理解の深化に配慮されている。 ●教材には、表現する際のポイントや、音楽の背景にある社会や文化についての解説が設けられており、表現の工夫や音楽の理解を促すとともに、生徒の興味・関心を引き出し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて取り組めるよう工夫がなされている。 ●創作活動においては、小学校、中学校における「音楽づくり」「創作」の学習内容を踏まえて、時間的、能力的に無理なく取り組める教材が具体的な手順を示して取り上げられており、生徒の能力に応じて柔軟な指導を進められるよう配慮されている。 ●鑑賞活動においては、明確な鑑賞ポイントや資料を示し、音楽実践の活動も含めた多角的な視点から音楽の魅力に自ら気付けるよう工夫されている。 ●歌唱教材においては、古くから歌い継がれている曲を複数取り上げ、器楽教材においては楽器の奏法などについて唱歌を伴って分かりやすく解説している。また、鑑賞教材においては声明、平家、地歌、義太夫節を中心とした日本の伝統音楽や各地の民俗芸能などを取り上げており、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を育成できるよう配慮されている。
構成	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校、中学校における学習内容との系統性、一貫性について配慮されているか。 ●各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てるための配慮がなされているか。 ●教材の配列は適切であるか。 ●教材の分量は適切であるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校、中学校の義務教育における音楽科の目標を継承し、発展した内容の教科書となっている。 ●歌い継いでいきたい日本の歌が、小学校、中学校から一貫して取り上げられている。 ●芸術歌曲やクラシック音楽だけでなく、ポピュラー音楽や映画音楽、民族音楽などさまざまなジャンルの音楽を教材として取り上げており、学習の深化や相互の関連付けを容易に行うことができ、各学校や生徒の実態に応じた柔軟な学習指導計画を立てられるよう配慮されている。 ●教材が系統的・発展的に配列されており、確実に学習が進められるよう配慮されている。 ●領域や分野ごとに平易な曲を中心として教材が配列されており、学習の理解や深化を図りやすいよう配慮されている。 ●厳選された教材が過不足ない分量で扱われており、各学校や生徒の実態に応じて柔軟に対応できるよう配慮されている。
人権	<ul style="list-style-type: none"> ●国際理解、情報、環境、人権教育などに配慮されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●全体を通して、人権教育について適切に配慮されている。また、歌唱教材や鑑賞教材においても、諸外国の音楽文化に対する理解を深めることができるよう配慮されている。 ●音楽に関する著作権については、ケーススタディを交えながら分かりやすく解説されている。
体裁	<ul style="list-style-type: none"> ●全体の体裁は教科書として適切であるか。 ●印刷・製本などは適切であるか。 ●ユニバーサルデザインへの配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●A4判で楽譜が見やすく、紙面のレイアウトも統一感があり、教科書として適切なものとなっている。 ●教科書の内容をイラストで表現した表紙からも高校生に向けてのメッセージが感じられるよう工夫されており、音楽に親しみやすい体裁となっている。 ●カラーページと2色ページに分かれたすっきりした紙面構成を採用しており、楽譜、文字、イラスト、写真などの印刷の発色もよく、鮮明なものとなっている。 ●製本は長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。 ●再生紙を使用し、リサイクル可能な表紙加工を施すなど、環境にも十分に配慮がなされている。 ●全体に区別しやすい配色を用いながら、学習上の必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。
総合所見	<p>多様な音楽文化についての理解を深め、音楽的感性を育むために適切な教材が厳選されている。確実に学習を進められるよう、系統的・発展的に教材が配置されている。主体的な学習活動を促すために、生徒が自ら体を動かして行う活動が随所に配置され、音楽的学びを深められるよう配慮されている。二次元コードによって、楽器の奏法や、外国語歌曲の歌詞の発音などを視聴することができ、自宅での予習や復習も効果的に行うことが可能となっている。</p>	